

共生社会の実現に向けた取り組み

～中央央共同募金会様との協働事例を中心に～

2021年11月30日

**パナソニック株式会社
オペレーショナルエクセレンス社
企業市民活動推進部**

主幹 東 郷 琴 子

パナソニックの経営理念

～事業を通じて人々の暮らしの向上と社会の発展に貢献する～

基本の考え方

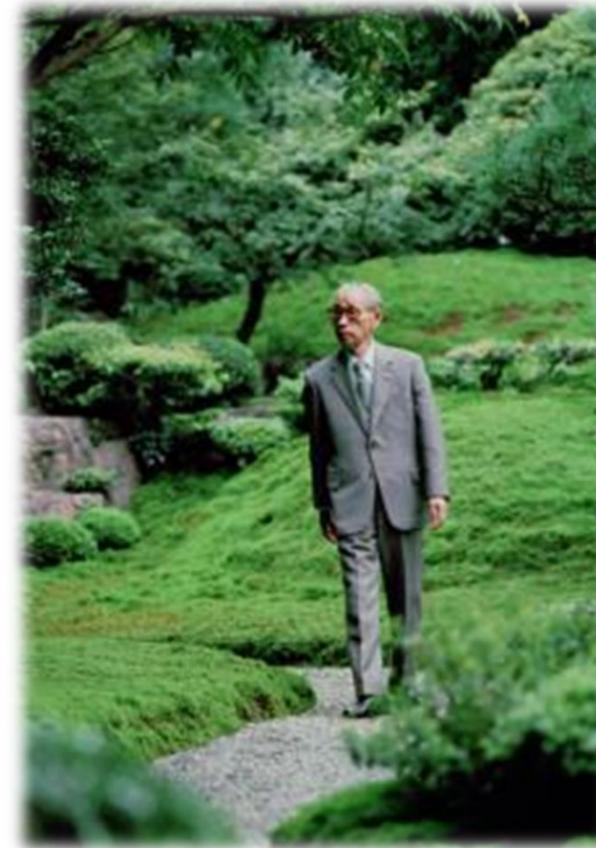
社会の公器、お客様第一、衆知を集める、日に新た

ブランドスローガン

A Better Life, A Better World



1929年、創業者が制定。
あらゆる経営活動の根幹をなす
当社の「経営理念」



創業者：松下幸之助

グローバルに認知されている社会課題と創業者の考えの両方から、優先課題を選定

重点テーマ

共生社会の実現に向けた**貧困の解消**

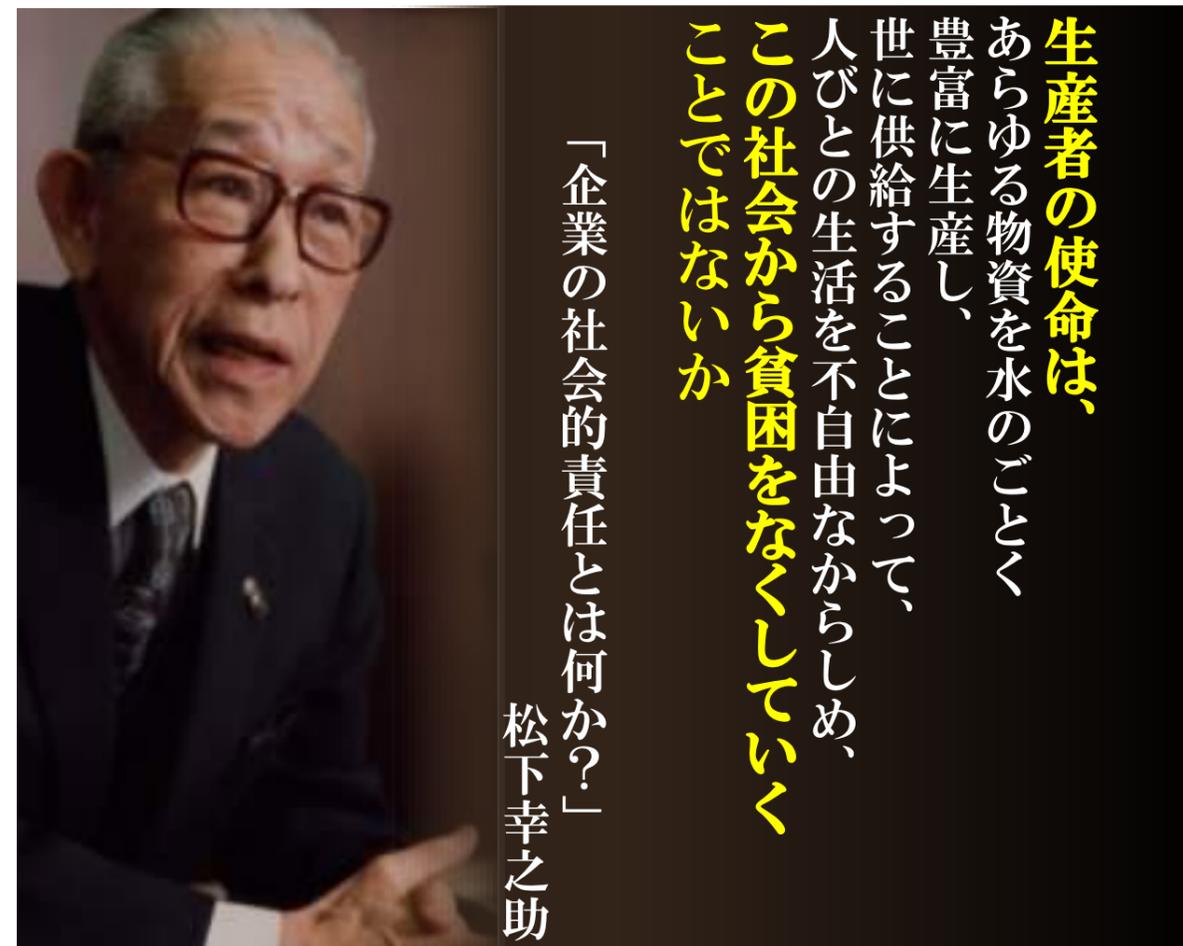
■国連 持続可能な開発目標 「Sustainable Development Goals」

すべての国連加盟国が2030年までの達成を目指す、持続可能な開発目標。エネルギー、ジェンダー、教育、経済成長などの17の分野で169の目標が設定されている。

「貧困解消」は17の目標のうちの1つめ。



■創業者の考える企業の使命



生産者の使命は、あらゆる物資を水のごとく豊富に生産し、世に供給することによって、人びとの生活を不自由なからしめ、この社会から貧困をなくしていくことではないか

「企業の社会的責任とは何か？」
松下幸之助

「人材育成」「機会創出」「相互理解」の3つの切り口で貧困解消に取り組む

パナソニックグループの新型コロナウイルスに対する取り組み①

2020年 3月

CSR Webサイトを通じた休校中の子どもたちの学び支援

4月

事業 新型コロナ感染拡大に伴う不足物資等の支援

4月、5月

CSR オンライン授業に関する教員への情報提供

5月

本社 新型コロナ感染症にかかる予防ワクチン・治療薬等の研究開発支援

6月

従業員 コロナ対策支援募金キャンペーン実施

寄付総額：19,411,900円、寄付者のべ3,129人

会社もマッチング支援し、合計4千万円を7月末に3団体へ寄付

カフェポイントによる寄付

医療分野

ピースウィンズ・ジャパン



特に政府の支援が届きにくい
中小のクリニック・診療所へも支援

オンライン（クレジット決済等）による寄付

子ども・福祉分野

中央共同募金会



全国各地の子ども・家庭、フードバンク活動、
居場所を失った人々を支援

医療分野

ジャパンハート



医療現場への医療従事者の派遣や、
東南アジアの子どもたちを支援



▶▶ 2月に寄付先の活動報告会も開催

パナソニックグループの新型コロナウイルスに対する取り組み②

2020年 7月

本社 日本赤十字社に「ジアイーノ」200台提供

7月～
8月

CSR 当社製「夏向けマスク」をスポーツ関連団体、
7月豪雨災害の被災地・災害ボランティアセンターに寄付

中央共同募金会様を通じ、熊本県被災地の災害ボランティアC
15カ所に寄付し、現地でのボランティア活動に活用いただく ▶▶



2021年 2月

事業 業務用「ジアイーノ」（190台）を愛知県春日井市に寄付

5月

事業 宅配BOX「COMBO」の売上の一部で当社製マスク5万枚
をトラック協会に寄付

8月

従業員 福利厚生「カフェテリアポイント」による寄付の仕組みで、
社員寄付分に会社のマッチング分を加え、認定NPO法人
ピースウィンズ・ジャパンに寄付を実施。
東京医師会を通じて、中小規模のクリニック等へ物資を支援



コロナ対策支援募金キャンペーン

- ◆2020年6月、従業員を対象に「募金キャンペーン」を実施。従業員の参加協力を広く呼びかけるべく、寄付先をお呼びして「社会課題講演会『Social Good Meetup』」を開催するなど、広報活動を展開。
- ◆7月に「募金キャンペーン」による寄付金（総額4,000万円）を寄付先3団体へ贈呈。

スケジュール	5月：寄付先の決定、募金サイト・特設サイトの制作 ▶▶▶ 6月：キャンペーン推進期間、広報活動展開 7月：目録贈呈、寄付実施
寄付先	中央共同募金会、ピースウィンズ・ジャパン、ジャパンハート
実績	寄付総額 19,411,900円、寄付者 3,129人 会社もマッチング支援し、7月に3団体へ総額4千万円を寄付

【寄付者から寄せられたメッセージ】

- ◇子どもが成長してこそ国の未来がある。明るい未来を目指し前向きに進める社会を作りたい
- ◇身近に支援が必要な子どもや家族がおり、この募金活動に賛同します
- ◇居場所を失った方々に、皆で何かできること探していきたいとの想いで募金します

■募金キャンペーンと連動し、社会課題講演会をオンライン開催

- ①告知：ウィズコロナの中で私たちに今できること(会社の取り組み & 寄付先の活動紹介)
- ②寄付金の活動報告を2021年2月に実施



災害ボランティア育成講座

- ◆2019年度より近年頻発している自然災害を受け、災害発生時にボランティアとして自主的に活躍できる人材を各拠点・地域に育成する目的で開始。
- ◆2020年度からはオンラインで実施し、これまでに1,418名が受講。現在は「中級編」を開催。
- ◆協働先は、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（通称：支援P、事務局が中央共同募金会）

2019年度
～2020年度

初級編：災害ボランティアの知識・心構えを身につける
約2時間の講座

- ①災害ボランティアの歴史、ボランティアセンターの役割など基礎的な知識
- ②被災地で求められる心構え、活動時の備えなど
- ③地元の社会福祉協議会の災害時の役割、ボランティア保険の説明



2021年度

中級編：より災害現場の状況に即した、
実践につながる2つのコースを新規開催

- ①災害ボランティアセンター運営サポートコース
- ②現場実践コース



受講した従業員が2019年台風19号の際に、
福島県の被災地でボランティアとして活動



ご参考：NPO/NGOへの支援プログラム

1 Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs



「貧困の解消」に向けて取り組むNPO/NGOが持続発展的に社会変革に取り組めるよう、その**組織基盤強化を応援する**公募型の助成プログラム

海外助成

29件 3,816万円



国内助成

30件 3,845万円



2001年からの累計：426件 5億3,863万円 助成

2 Panasonic NPO/NGOサポート プロボノプログラム

パナソニックグループの従業員がビジネススキルを活かし、チームでNPO/NGOの事業展開力の強化を応援するボランティアプログラム

(対象：サポートファンドの助成先、東北復興支援、災害支援団体)

